

日本隨筆大成

第三期

吉川弘文館

14

塩尻 2 (巻二十六～巻五十) ॥ 天野信景

日本隨筆大成

（第三期）14

昭和五十二年九月三十日 印刷
昭和五十二年十月十二日 発行

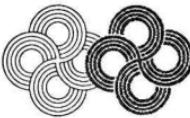
編者 日本隨筆大成編輯部

発行者 吉川圭三

発行所 株式会社 吉川弘文館

〒113 東京都文京区本郷七丁目二番八号
電話東京八一三一九一五一（代表）
振替口座東京〇一二二四四番

日本隨筆大成 第三期第九卷
昭和五年十一月卅日發行
編纂者 日本隨筆大成編輯部
代表 早川純三郎
発行者 桜井庄吉
発行所 日本隨筆大成刊行会



製作 || 株式会社 たんちょう社

目次

塙

尻（卷之廿六～卷之五十）

.....

一

（解題

北川博邦

小出昌洋）

志在

目

次

卷之廿六 宝永

公慈明剛

神農の本草

普光院閑白

斉の田氏、漢の王莽

朱子曰師保之任

冷涼清の字意

滌斌勇靈齋麌殮

餌饅餅

晋甫老先卒

興空上人化

松平太郎左衛門系図

松平家旧臣七家

家系新写銘

高台寺政所

尾公老臣与力拝礼ノ次第

尾府東照宮祭礼供奉

入重玄門薩埵

秀吉の妹君

中殿和歌御会

伊勢物語深秘書

花営三代記

足利義昭の末葉

慶長十九年内の御聯句

是山法師辞世の歌

丁亥十一月富士山焼の事

濃州苗木辺迅雷

黒雲如レ橋たなびきし事

上世の刑戮

上杉憲実

高野山旧翰

卷之廿八 宝永

播州姫路城主歴代考

国政の是非

如一国師

知恩院僧正の任

知恩院宮門跡

四ヶ本寺

春日井郡石山寺開帳

山背ノ国

日本国正統図曰

山背を山城と改並平安城

敵神猛神

始造三平安城一

御靈会

佐治氏系図

三州の真福寺

三州御由緒の諸寺

同國八幡祇鹿尾犬頭社

同國長沢十二家御油二家

同院内村万歳作大夫

武官の士を撰ぶ上杉憲政

楠正儀細川頼之に答ふる言

木の本を住家とするの歌

八幡山高良明神

五種僧

釡氏の教行証

脇屋義助の感状

新田義貞戦死月日

同略系

豊前国羅漢寺

豊後国木綿布山温湯

松浦海中の神島

筑前国觀音寺

長崎の風俗話記

同所諏訪の社神祭

車の大八葉

冠の老掛

尾州往古大地の寺院

歌をみて作者の程しらるゝ事

三面六臂の大黒天神

卷之廿九 宝永

戊子正月公宴和歌

柳營祝三白鶴瑞

詞光広卿
龍慶
沢庵和尚

三月三日潮干熱田海浜事附ひゐな遊びの

事

春日井郡大永寺

木崎長母寺の開山

甲冑鍛冶由来

尾府東照宮神楽音楽始

戊子京師大火の事

才不逮

七德の舞

大食調

日本官服長裾

名古屋村若宮三所

壱 壴 叴

壱 壴 叴

壱 壴 叴

龜尾山安養寺縁起并按
郭内牛頭天王祠
孫若御子神社

三州寺辺

居士の称呼

江州唐崎の松

觀音三十三身

戊子立坊立后記

戊子京師諸家類焼記

尾張宿禰中世家領

熱田加藤図書略系

舍人の訓

和州芳野前鬼後鬼

葵の御紋由來の事

大蓮明院
三十番神、五番神咒

二 壴 壴 壴 壴 壴 壴 壴 壴 壴

壱 壴

尾府東照宮棟札之写	同御神号一幅井御宮	二元	疫神祭の符
三所		二〇	吾亭を問津と勝せし事
愛智郡小林城墟		一九	募レ錢鑄レ像
驢馬の讚		一八	陶淵明 謝靈運
思玄賦に云牛哀		一七	為レ妾造レ寺
我邦帝王始諱		一六	仏寺王宮の制を用ひし始
禪家葬礼七仏事		一五	宋ノ世紀不律寺院一
葱乃訓		一四	伍子胥、毛公、薛公
神前赤服を禁する説		一三	聖徳にも化しがたき事
卷之三十一 宝永		一二	
後梁蕭登		一七	しゆろ竹の本名
人ノ十等		一六	きぢやくといふ鳥
竜伯国ノ人ノ長		一五	西門豹自戒
没字ノ碑		一四	濃州武芸郡竜門寺
公孫呂		一三	岐阜護国寺
熊野考異記		一二	中院通茂公筆築の銘
熱田供僧家古証文		一一	同公牡丹の詠
鞆絵の紋		一〇	春日井郡六所明神

重松氏	我北堂教諭の言
無位朝臣と書す	頭寒足熱
浪人	安藤氏両流ある事茲略系
住持	清ノ左弁将軍
宗長の道の記の中	國姓爺が孫奏舍
佐々内藏介略系	綱吉公御贈位官
天野弥右衛門	御三家並加州侯へ御遺物
熱田より桶狭間へ間道	聖經改 <small>ニ古文一作楷書ニ</small>
珠数の梵語	寺院の二王
南都大仏再修の事	三曼荼羅
同殿華梁銘	仏像七種のならひ
大像縮図	中原康富日記抜抄
旅中春雨の詩	椎の葉の折敷
妙法蓮花輪貫	
柵 檻	
卷之三十二 宝永	
五常三綱六紀	同御法会 同御院号
政字説	斯波氏の紋
前將軍家御葬送	牧氏略系

犬山城主歴代記
熱田社人の袍の紋
同座位
侍の礼服
角觔
唐憲宗賜我国人位記
己丑関東御昇進ノ次第附堂上方御饗應
將軍御政始三家公会盟
文武官人の座次
弁官の当位
西京妙心寺の地
正成信雄等の訓習
不比等の訓習
着鉢政
あをはち
信長馬の屏風
逆退
唐朝十部の楽
十種香

上戸下戸の称
処レ己居レ官警語
鷺尾三郎
蜷川氏
仏体の五部
近世公家武家異姓相続家
我帝王の諡始
三宝荒神感得の始
天竜寺供養
朝鮮学士評
武士の名分
干城好仇
義経の姿静
御成といふ訓意
近衛基瀬公歌の評
五色題の詩
雅意
高尾 梅尾
尾東瀬戸山

天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天

下野国二荒山祭神

卷之三十三 宝永

神前乃射礼	一元	結城氏代々称号
弓矢問答	一元	宇都宮氏代々称号
凡武芸優長	一元	熱田千秋氏他家より続し事
稼穡紡績	一元	阿弥陀経棲偈
二子教諭の言	一元	勢士富商の婚礼
惠心来迎曼陀羅	一元	士庶会集の席言
東大寺大殿落慶供養記	一元	神無月人の山荘に遊ぶ
大像尺寸	一元	紅葉を人に贈る歌
般若船觀音	一元	篆字の象
觀音數形あり	一元	梅桜卯の花蓮萩
兵貴 <small>ニ拙速ニ</small>	一元	桃荔を執て不祥を祓ふ
布施氏早世悼詞	一元	明家の牌式
よしのゝ桜雪と見し歌	一元	孟子所謂四端
本多縫殿介康俊	一元	伊勢の神宝
岡部正綱の女	一元	村上掃部介武則
井伊直政由来	一元	近世実録書目

五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

題詠の歌四首

餞別のうた

杉原家利系図

杉原道松斎系図

日向国高千穂峰

茶人宗易

筆工福某と称す事

端午の長命縷

兼好生没年月日

己丑天皇讓位

卷之三十四 宝永

- 或問大己貴命の児
鳴海杻神社
神名式宮内省座神
菊蓬連理生ぜし事
淨土宗嫡流
余古の浦羽衣の説
朝廷春日天王寺楽人領

一一九 山王社猿の庖瘡
一一八 今上新殿遷幸次第
一一七 通茂公鶴のうた
一一六 内侍所御筥二合ある事
一一五 摂政家下馬内乗馬の事
一一四 或武家の位置書に
一一三 消息宣下

一一二 夏の袍こめ織の称
一一一 鏗錘叩の差別
一一〇 謀生待足
一一九 尾州琵琶島
一一八 宋徽宗犬を殺すを禁ず
一一七 前津庄三輪明神

一一六 一一五 一一四 一一三 一一二 一一一 一一〇 一一九 一一八 一一七 一一六 一一五 一一四 一一三 一一二 一一一